

研究課題名「肺癌外科検体におけるキナーゼ X 遺伝子の発現解析研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2017年5月11日～2017年10月31日に当院で肺癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

肺癌の発生と進展において重要な働きをしている遺伝子異常はドライバー遺伝子と呼ばれます。ドライバー遺伝子にはいくつかの種類があります。代表的なものとして変異型 EGFR 遺伝子があり、この遺伝子に対してはとてもよく効くお薬がすでに複数利用可能です。変異 KRAS も代表的なドライバー遺伝子の一つです。しかし、変異 KRAS に対しては有効なお薬の開発が未成功です。私たちはキナーゼ X という遺伝子の抑制が変異 KRAS を持つ肺癌細胞の増殖を抑制することを発見しました。そこで、本研究では、臨床検体におけるキナーゼ X の重要性を調べることを目的とし、その発現評価と臨床病理学的因子との関連を調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：外科切除された肺癌および正常肺組織

(「遺伝子変異検査、遺伝子発現検査等の分子解析による胸部腫瘍の発生、増殖・浸潤、転移機構の基礎及び臨床研究 承認番号 2017-0034」にて同意が取得された検体)

情報：年齢、性別、組織型、病期、遺伝子検査結果 (EGFR, ALK 融合、ROS1 融合)、PDL1 タンパク発現量、無再発生存期間、全生存期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2167

担当者・研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 佐藤光夫